

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場外構部周辺での練習は、事故防止のため厳禁とする。
- 2) グラウンドでは、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 3) トレーナー活動は、各大学の待機場所にて行うこと。

3. 練習について

- 1) 11 時 30 分～14 時 30 分までトラック内での練習を可能とする。フィールド競技の練習については、競技役員の指示に従い競技開始前にそれぞれの競技実施場所にて行うこと。ただし、競技運営の都合上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- 2) トラックレーンの使い方は次の通りとする。

| レーン | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|------|--------------|---|------|---|----------------------|---|----------------------|---|
| 競技種目 | 中距離 ジョギング | | スタブロ | | 女子 100mH 女子 400mH | | 男子 110mH 男子 400mH | |

- 3) 各スタート場所にはスタブロを設置する。
ハードル種目については、5 台のハードルを設置する。

4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは大会当日に選手受付（諸室図参照）にて 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさで胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸または背だけでもよい。なお、一部の選手、リレー種目出場者には氏名またはチーム名標記のアスリートビブスを配付する。氏名またはチーム名標記のアスリートビブスは胸につけ、番号標記のアスリートビブスは背につけること。
- 2) トラック種目出場者は招集時に配付する腰ナンバー標識を両腰の上部、やや後ろにつけること。
- 3) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

| | | | |
|----|--------|----|----------|
| 男子 | 黄地×黒文字 | 女子 | ピンク地×黒文字 |
|----|--------|----|----------|

5. 競技者の招集について

- 1) 招集所は 100m スタート側ゲート付近（諸室図参照）に設置する。
- 2) 各種目の招集時刻は以下の通りとする。

| 競技種目 | | ラウンド | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|-------|---------------|------|------------|------------|
| トラック | 全種目(リレー種目を除く) | 決勝 | 競技開始 30 分前 | 競技開始 20 分前 |
| | リレー種目 | 決勝 | 競技開始 35 分前 | 競技開始 20 分前 |
| フィールド | 跳躍種目 | 決勝 | 競技開始 50 分前 | 競技開始 40 分前 |
| | 投てき種目 | 決勝 | 競技開始 50 分前 | 競技開始 40 分前 |

- 3) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等の商標チェックを行う。また、荷物運搬袋およびトラック種目出場者のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取ること。
- 4) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 5) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに「重複出場届」**を競技者係（招集所）に提出すること。
- 6) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに提出されない場合、当該種目を欠場したものととして処理する。
- 7) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
- 8) リレー種目は、オーダー用紙（招集所に用意）を記入の上、**当該種目第1組招集完了時刻1時間前まで**に競技者係（招集所）に提出すること。
- 9) 競技エリアへの入退場について
 - ① 招集所にて点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い競技エリアへ入場すること。
 - ② 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通過して退場すること。

6. 欠場について

- 1) エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合は、7月20日（土）19時00分までは、本連盟ウェブサイトに掲載している欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス（kanto-entry@kgrr.org）に送信すること。
- 2) 7月20日（土）19時00分以降および大会当日に欠場を申し出る場合は、欠場届に必要事項を記入、押印し、競技者係（招集所）に提出すること。
- 3) なお、未提出のまま欠場をした場合は、今後本大会に招待をしない可能性がある。

7. 番組編成について

本大会は欠場者を除いた競技者により、大会2週間前に番組編成を行う。確定した番組編成は本連盟ウェブサイトに掲載し、大会当日、公式プログラムとは別にスタートリストを配付する。

8. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（やり・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 2) 棒高跳の練習に関しては、主催者が用意するゴム製バーを使用して行うこと。
- 3) やりの持ち込みを希望する場合は、事前に申請書を記入し、競技開始時刻の2時間前から1時間30分前までに用器具庫にて公式計測員による検査を受け、検査に合格した個人所有のもの（日本陸連検定品かつWA認証品に限る）を2個まで持ち込むことができる。
- 4) 検査に合格したやりについては、主催者で一括して借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。なお、競技終了後、用器具庫にて返却する。
- 5) 破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者は責任を負わない。

9. 競技について

- 1) トラック種目の計時はすべて電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- 2) 女子三段跳の踏切板の位置は砂場に近いほうの端から10mとする。
- 3) フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とする。

- 4) 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、気象条件等で変更することがある。練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

| | | | | | |
|-----|------|------|------|------|--------------------|
| 棒高跳 | 1 | 2 | 3 | 4 | 以降、最後の1人になり |
| 男子 | 4m75 | 4m85 | 4m95 | 5m05 | 優勝者が決まるまでは5cm刻みとする |
| 走高跳 | 1 | 2 | 3 | 4 | 以降、最後の1人になり |
| 女子 | 1m60 | 1m65 | 1m68 | 1m71 | 優勝者が決まるまでは3cm刻みとする |

10. 表彰について

- 各種目とも3位までに賞金を授与する（2組以上の場合はタイムレース上位3名とする）。対象者は、大会終了後、本連盟から指定口座へ振り込む。
- 全競技終了後、最優秀選手を男女各1名選出し、表彰する。各種目の優勝者は、最優秀選手選出の可能性があるので、全競技が終了するまで競技場内に待機すること。

11. 結果発表と抗議について

- 競技結果の正式発表は、ホームスタンド正面のビジョンにて行う。
- トラック種目のスタートに関して、現場での抗議を認める。抗議があった場合、「抗議中」として赤白カードを提示した上で、競技をすることを認める。
- フィールド種目においても、現場での抗議を認める。競技中の抗議があった場合、審判長により該当する事項を保全するためにその試技を計測、記録する。
- 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、当該競技者あるいは所属チームの代表者により、結果が正式発表されてから30分以内に、招集所にある抗議受付用紙に記入すること。その後、大会本部に常駐の総務員より審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。抗議に対して審判長は速やかに裁定する。

12. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、日本陸上競技連盟の「競技会における広告および展示物に関する規程（国内）」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

13. 応急処置・緊急車両の手配について

- 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2024年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 本大会は全てのスタンドを一般観客席とする。以下の区域に立ち入る者は、指定のIDカードを所持していなければならない。競技者は必ずIDカードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。

| 規制エリア | 入場可能ID（いずれか1つで可） |
|-------------------|------------------|
| コーチングエリア | 競技役員・チームスタッフ |
| グラウンド・招集所・ミックスゾーン | 競技役員・選手 |
| 各諸室 | 競技役員 |

- 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。